３学年　　家庭科ガイダンスシラバス　教科担当　水村　英美子

１．　家庭科を学ぶねらい

① 生活の自立に必要な衣食住・消費生活に関する基礎的な知識と技能を習得すること。
② 実践的、体験的な学習活動を通して、生きる力を身につけ今後の生活に生かすことができるようになること。

２．学習方法

授業を受ける準備を休み時間に行い、集中して授業を受けられる環境を作りましょう。

① 座学のとき
教科書・ワーク・プリントを中心に基礎的基本的な知識を身につけます。
・授業中は、先生の話や周りの人の発言をしっかり聞き、自分の学びに生かすこと。
・発言する場合は、手を挙げて発言すること。
・プリントやワークは、記入もれのないよう埋め、その他メモしたいことがあれば積極的にプリントへメモをすること。

② 実習のとき
製作の作業を確認して進めていきます。作業後にはその日の振り返りを行います。
・製作の際には安全に気をつけて作業を進めること。
・準備は授業が始まる前までに行い、片づけは周りをみて丁寧に行うこと。

３．持ち物、忘れものなどについて

・教科書、ワーク、ファイルの３点セットが基本です。
・作品製作をする時には、裁縫道具等を使用します。
・調理実習をする時には、エプロン・三角巾・ハンドタオル・マスクを使用します。
・すべての持ち物に関して、紛失防止のため貸し借りは禁止。
★忘れ物をしないように気をつけましょう。
万が一忘れ物をしてしまった場合は、必ず教科担任に報告に来てください。

４．　　学習の評価内容と評価方法

① 第一観点：「知識・技能」
（定期考査・小テスト・作業手順の正しさ・用具や機械の使い方や片付け方・作品の完成度・実技テスト）
② 第二観点：「思考・判断・表現」
（課題レポート・作品の工夫・プリント・振り返りの記入内容・定期考査）
③ 第三観点：「主体的に学習に取り組む態度」
（ワーク・プリント・課題プリントやレポート）

５．先生からのアドバイス

・授業中は、積極的に発言し、意欲を出して取り組みましょう。
・課題は、期限を守って提出しましょう。
・実習中は安全に配慮して、意欲的に取り組みましょう。
・あきらめずに最後まで作品を完成させましょう。

６．家庭科　年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4 ～ 7	〔家族・家庭と子ども〕 １わたしの成長と家族 ２幼児の心身の発達 〔生活を豊かにするものの製作〕	・自分の成長を振り返り、家族や自分の成長にかかわる人々に関心をもつ。 ・幼児の心と体の発達の特徴について理解する。 ・子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなに役割について理解する。 ・基本的な縫い方を学ぶ。 ＊かんたんマスコット	・授業観察 ・製作の技能 ・定期考査 ・ハンドノート、プリントの記入や提出 ・発言や意見・
2	9 ～ 12	〔生活を豊かにするものの製作〕 〔幼児の生活と遊び〕 〔消費生活・環境〕 １．家庭生活と消費 ２．購入・支払いと生活情報 ３．消費者被害と消費者の自立 ４．持続可能な消費生活	・基本的な縫い方を学ぶ。 ＊かんたんマスコット ・幼児にとっての遊びの意義を理解し、遊びを経験できる環境について考え理解する。 ・物資とサービスの特徴がわかり、消費生活のしくみがわかる。 ・売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ・消費者を支えるしくみについて理解できる。 ・消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。	・授業観察 ・作品評価 ・定期考査 ・実技テスト ・ハンドノート、プリントの記入や提出 ・発言や意見
3	1 ～ 3	〔幼児の生活と遊び〕 ［３年間のまとめ］	・幼児の食生活に関心をもち、子どもに適したおやつの調理をできる。 ・３年間の家庭科で学習したことを復習し、共生社会や持続可能な社会について考える。	・授業観察 ・レポート評価 ・調理技能や取り組み